

# COCOA CIGARETTE

しのぶエレクション！

Shinobu-erection!

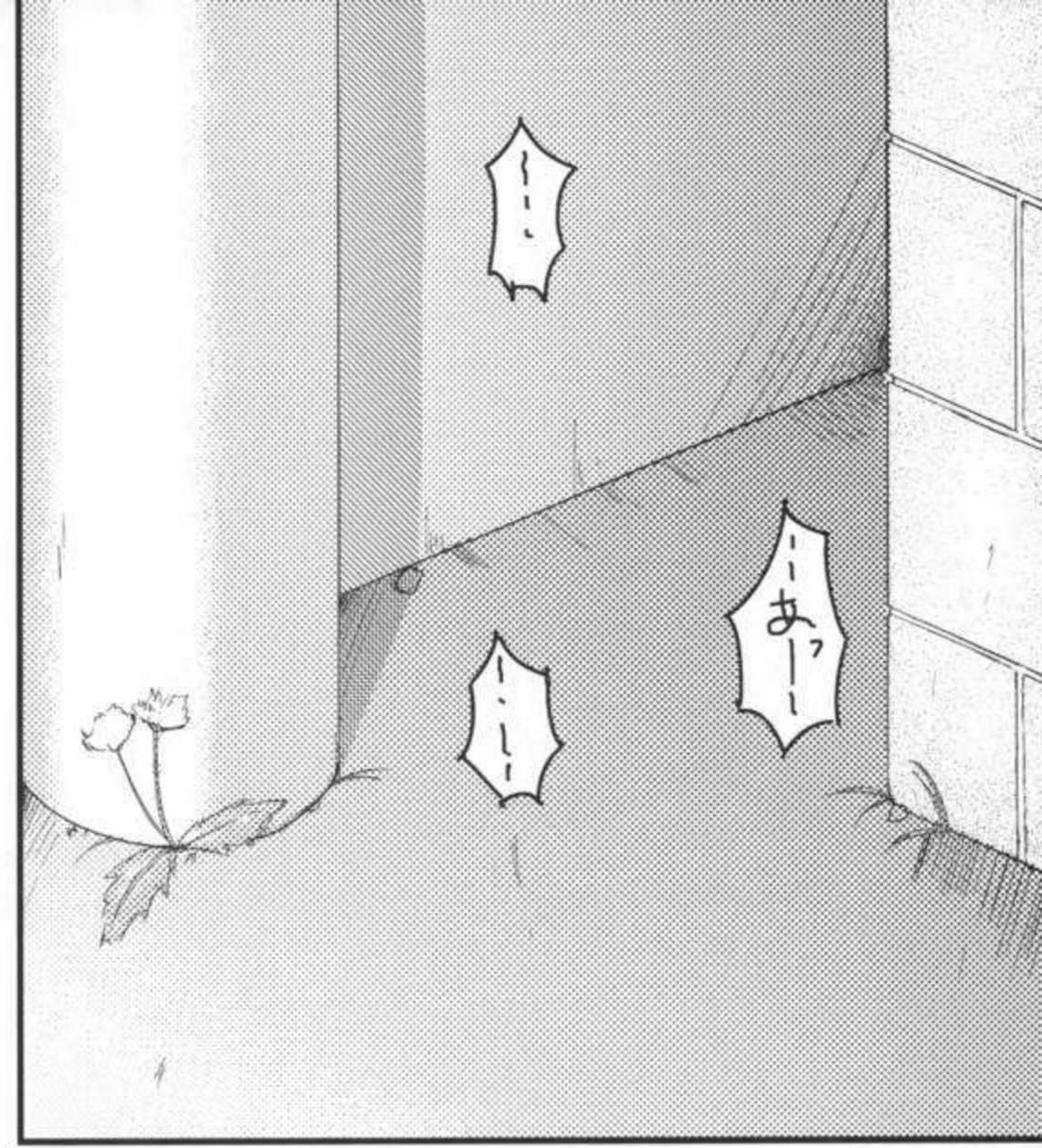
For Adult Only

# COCOA CIGARETTE

しのぶエレクション！

Shinobu-erection!

For Adult Only



ひあん!!

八越越  
寺ええ  
とはは  
はなは  
いらい  
なつな  
いでい  
かか  
一線  
を  
か  
と

最悪ですっ!!

今考えると  
何故もつと早く越えなかつたのか  
逆に不思議なぐらいだよ!!





グ  
グ  
グ

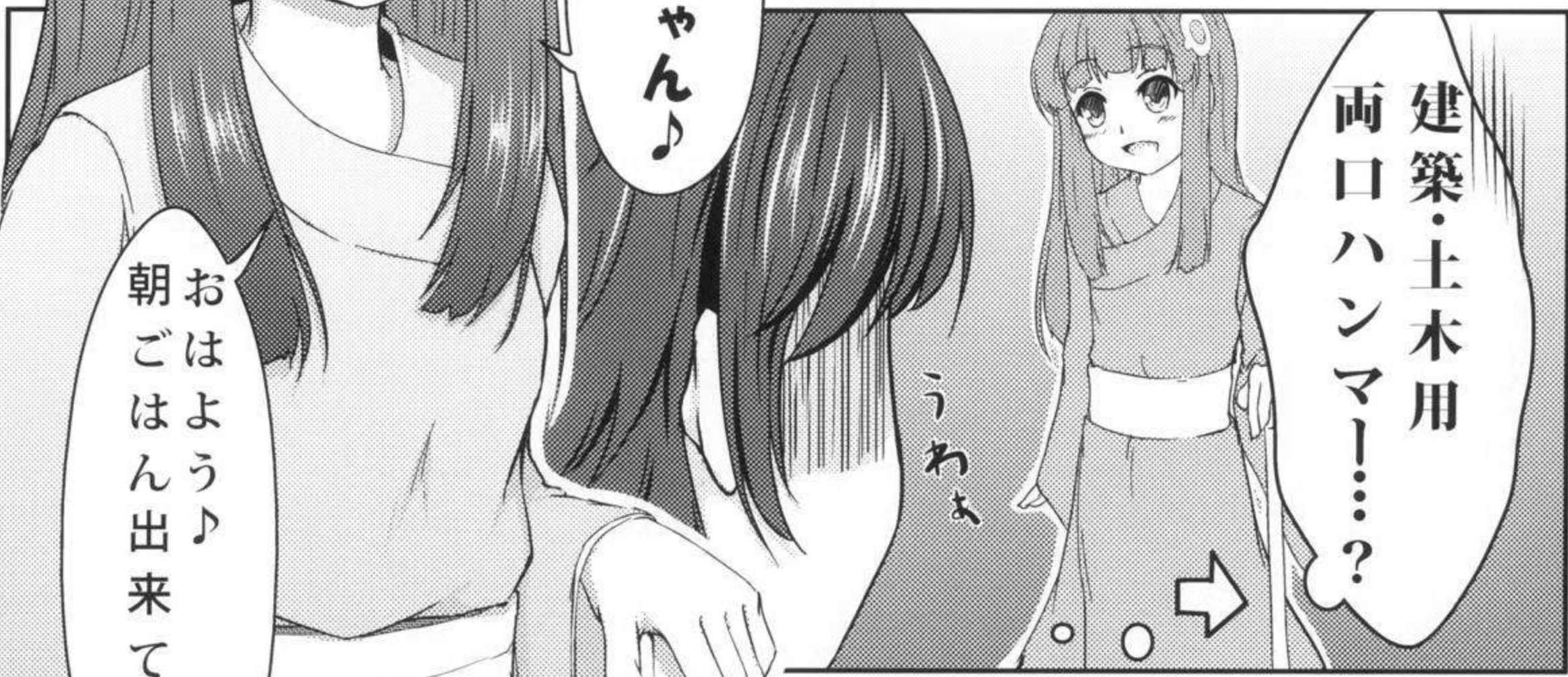
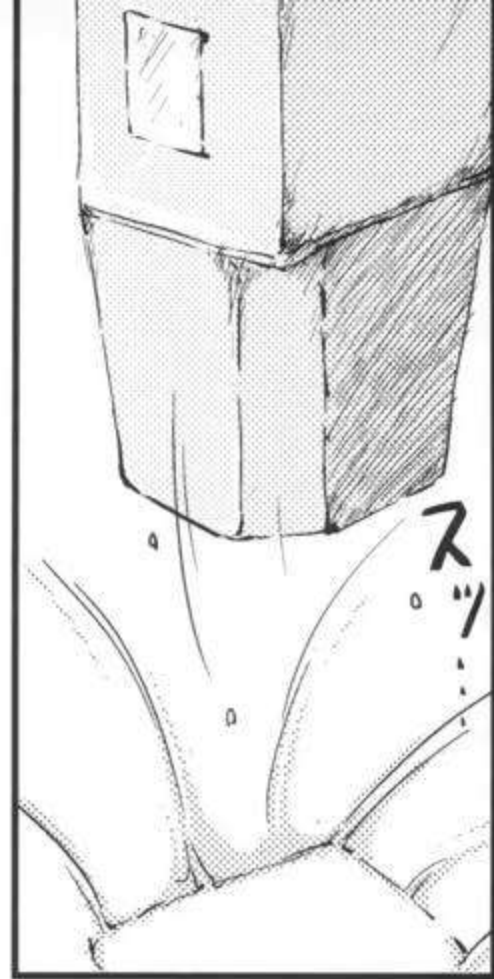


や  
や  
や

○学生サイコス!!



ほ  
お  
う  
わ  
っ  
!



前回はあんなに優しく  
起こして...

それは  
別次元のお話♪

ソウデスカ...

おはよう♪  
朝ごはん出来てるよ

お兄ちゃん♪

建築・土木用  
両口ハンマー...?



息子さんは相変わらず  
元気なようぞ

暗転



うん  
いい天気だ

カチャ



いってきます

カチャ



17:20

カチャ

カチャ

カチャ

カチャ



12:40



8:30

今日は  
何だか  
あんな  
事だ

カチャ



出てきてくれ...

忍しのぶ



バタン





：折角の珍しい  
モーニングコレクション中  
痛み入るのじゃが：

ひょこっ



忍しのぶッ!!



忍  
怪異だ



しかも、とび切り  
上等のな：

ほう？



まだ起こすのでは  
早すぎのお  
ないか

我わが主あるじさま様よ？

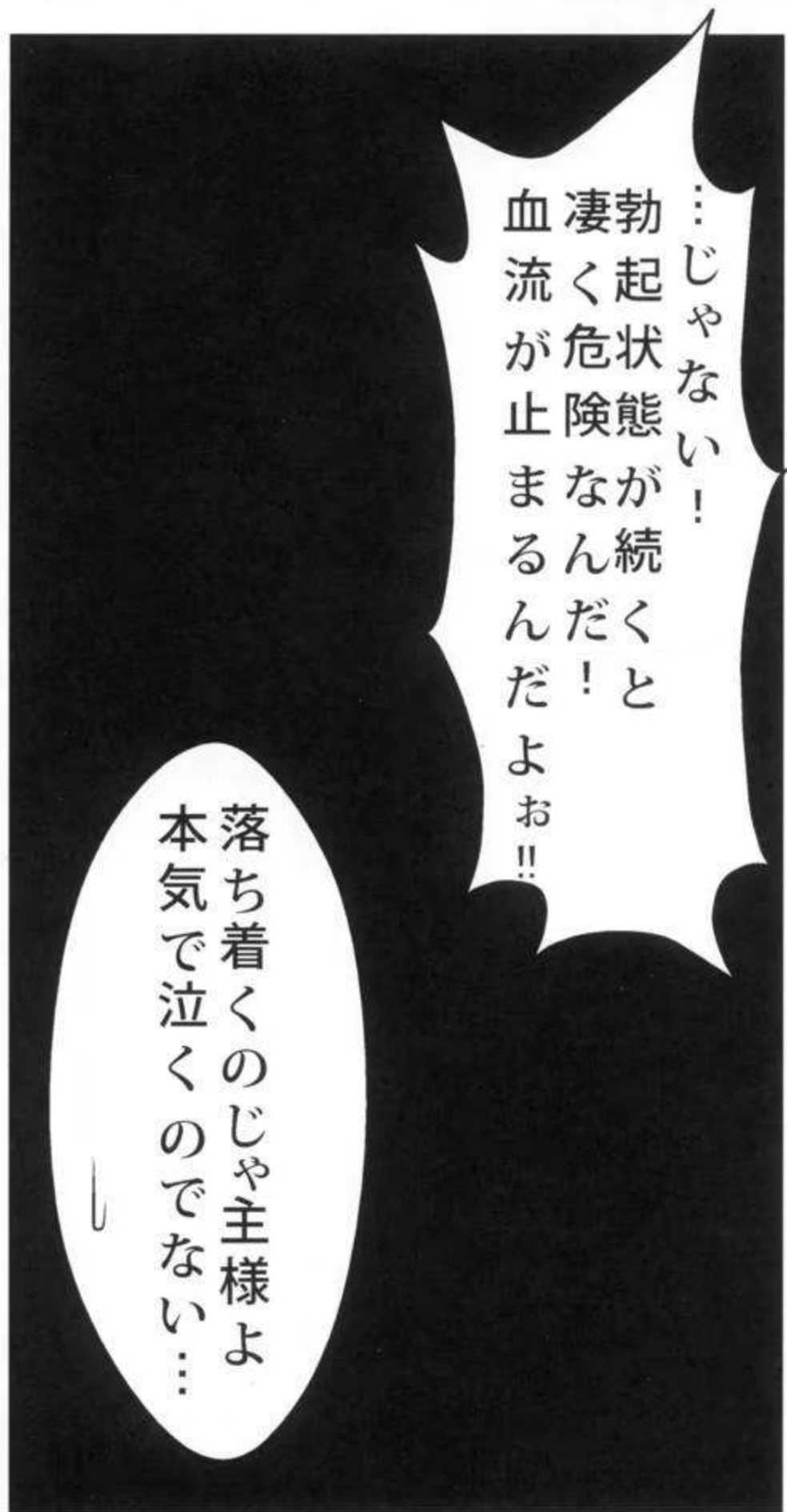


収まらない…!!

アアウウ



あさだ  
朝勃ちが



…じゃない!  
勃起状態が続くと  
凄く危険なんだ!  
血流が止まるんだよお!!

落ち着くのじゃ主様よ  
本気で泣くのでない…



?

ぱないの?

?

カワイイ!!

まあこれは  
推測じゃがの…

半吸血鬼化した影響が  
まだ体に残っておった  
ということじゃろうよ

ふむ…

吸血鬼においで  
の  
発情期は一度ぐ  
らいじゃが  
百年に

年中発情期であ  
る  
主人様の体が過  
剰に  
反応してしまう  
状態のお

どうすればいいか  
分かりますか？

なに、吸血鬼とは  
異なる、吸い  
るだけじゃ…  
やい、つるだけ  
じゃ…



どうして僕らは  
両手を束縛されて  
服を脱いださるの？



—それでだ



なあに♪

何においても  
まず形からと  
まじやろおて

それにの…

これからすることを  
考えると動けない方が  
都合がいいしのお…

すごく嫌な  
予感がするっ!!

クイッ

し、忍っ!!  
ちよっと、マツテ!!

まずは怪異の状況を  
確認せんとのあく

って  
のおわっ!!

どんっ

……なかなかに  
立派なものをお  
持ちじゃのお……

恐縮です……

す……

まあ、よい

まずは正攻法で  
溜まったものを  
絞り出してみよう

は……?

ギブ  
ギブ  
ギブ  
ギブ

エケ



正攻法って...

ペロッ

うおおあッ!!

ポロッ

ポロッ...



しっ...  
忍さんっ!?

コレは...  
ヤバイッ...!!

ポロッ

ポロッ

しっ...





チョコッ

んん〜!!

…ふぐつ?



ふぐう…  
んぐつ…

とん

んんん



…  
だ<sup>出し過ぎ</sup>ひすぎじや

おお…  
わつ、悪い…

んんん





まあ、これで  
取り敢えずは  
大丈夫じゃろ——

イケルかも…?

…ふむ



…ところでコレは  
どうすれば良いのかのお?

の…  
飲めんば  
ないか…?

たぶら



…ならばトコトン相手を  
してやるまでじゃの…

プキッ

プキッ



…全然元気じゃな

ジャキーン  
やっぱり一発程度じゃ  
ダメってことか…

今日はずっと  
ワシのターンじゃぞお

ケケケ

まだ絆創膏  
だったのか…

慣れると楽で  
なかなかいのじゃよ

さて  
どう料理して  
やろうかのお

…お手柔らかに  
頼みます…

ん？

入らんぞ？

……

ヤミッ





ひあっ!!

ひあっ!!



なっ  
そこはっ…

アッ



ひと

ああ

…もう大丈夫  
そうだな

グググ



なんだかそこは  
変な感じがするぞ!?

ほ、本当にそこで  
合っておるのか!?

ひ

あ

は

あ

ひ

や

ろ

あ



ああ…ああ…

忍、もっと力を抜いて…

さすがに狭いな…



よっし入ったぞ



もう少しで…

びくっ

びくっ

びくっ



つあっ!!

びくっ











いっぱい

ふああああんっ

アッア

アッ

アッ

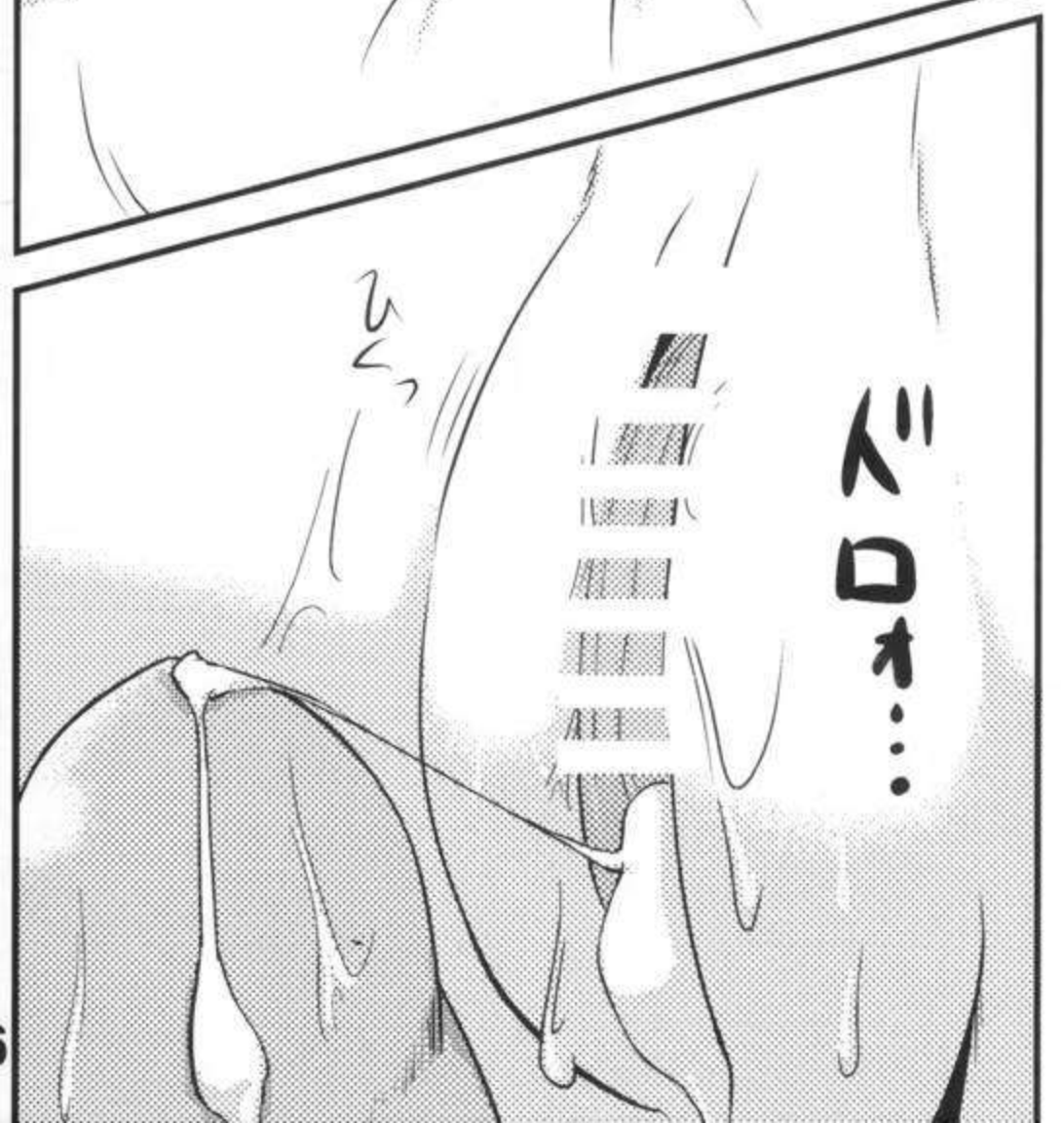


お腹に...

いっぱい...

あ

あ



ビロク...

# 【インターロード ストーリー——幕間談話——】

著 JOKER 浩之

【HP//心よ、届け♪

URL/http://www.geocities.jp/jokerhiroyuki/】

件の一戦の翌日。

「……………まあ、あれじゃな、本編で我が主様から語り部が奪われて久しくてつい、二日続けてはっっちゃけてしまったという感じか の？」

「はっっちゃけた、で済ませてしまっただけの問題か!? 冷静に考え るととんでもないことしてるぞ!？」

カカカ、済んでしまったことはしょうがない、我が主様はどうに儂 のボディにメロメロではないか、と僕の隣の吸血金髪少女は笑った。

ちなみに金髪の下には僕の腕。所謂腕枕というやつである。

「昨日も思ったけど常識的に考えてダメだろ……種族とか条例とか 色んな一線を軽々と越えちまった……」

ふん、そのような面白味のない常識ならば捨ててしまえ、賢者タ イムかお前様、と鼻を鳴らす忍。

ちなみに一糸纏わぬ艶姿、対する僕も同様の全裸。所謂、いや、 言葉にするまでもなくピロートークというやつである。ラブラブだ ね!

「しかし……存外、我が主様も鬼畜じゃのう。……いや、ここは鬼 畜生、むしろ敬意を表して人外と表記すべきじゃろうか? まさか、 わしの……」

「おっと、ストップだ忍ちゃん。読者の皆様は数ページ前の綺麗な 行為のみだと思ってるんだから、あえて僕の好感度を落とす必要は ない」

「はっ、絶倫がよう言うわ。腰が痛くてしょうがないわ」

吐き捨てるように忍は言うが、何故だか幸せそうに見えるのは僕こ と阿良々木暦の勘違いであると信じた。

そう、僕こと阿良々木暦は、元伝説の吸血鬼である忍野忍と一線 を越えてしまっているのである。

「……誰に向かって言っどるんじゃ?」

「……モノローグぐらい言わせてくれ。プライバシーの侵害で訴え るぞ」

「モノローグぐらい何じゃ。侵害なぞ言ったら、お前様はわしの秘 する所を……」

「ごめんなさいっ! 心の底からごめんなさいっ!」

「お前様にあんな性癖があったとは儂ですらびっくりじゃが、まあ、 よしとしよう。ちなみに、ここはパラレルワールドみたいなもんじ ゃから、他所の女子に気を使わんでよい。むしろ、忍ちゃんルート といったところじゃな」

「……お前こそ何言っどんだ?」

他所の女子も何も僕は以前から忍一筋だぜ?

「……ならばよい。まあ、これぐらい密接になっておかねば、あの前髪娘には勝てそうにないからのう」

「え、その設定は覆されないの？ 刊行前の内容に攻めて込んでいくのって危くない？」

「ま、大丈夫じゃろ。あくまで幕間。インターラードというやつじや。多少のメタ発言もありじゃ、と儂は思う。クリエイターは常に情報の最前線を取り入れねばならぬからのう」

「ギリギリの発言ばかりだな……」

「ギリギリと言えばお前様、もう少しずれてたら……」

「全然大丈夫っ！ むしろ、ギリギリとかおこがましいですよね自分っ！」

分かれれば良い、と勝ち誇った顔で忍は笑う。凄惨でも冷血でもなく。子供らしい年相応の笑み。

……500歳じゃねえのかこいつ？

「……まあ、学校卒業するまでの猶予をもらえたからな……僕はぶつ倒れてたからその話は伝聞だけでも」

「……猶予のう。はっ、これが本当のー」

「字面は似てるけど、意味合い変わってくるからな、それ。どちらかと言えば死刑執行日が決まってる連続少女誘拐魔な気分だぜ」

ハッ、少女に限定する意味も連続の意味も不明じゃな、と鼻で笑う忍。

「まあ、お前との掛け合いは八九寺とのお喋りの次に楽しいんだけど、話が進まないから閑話休題として、それで？ 果敢に刊行前の

内容に踏み込むとして千石に勝つ勝算はあるのか？」

「……あのような年端もいかぬ小娘に負けたというのは納得いかぬが、年上の女として度量の広いところを見せよう。して、勝算ならあるぞ。最も、お前様にあの前髪娘――千石撫子を殺す決心が付くならのう」

視線は対等の位置……というか、腕枕なので当然というか同じ目線の金髪の幼女は、幼女らしからぬ、全盛期を思い起こさせる凄惨な笑顔で僕にそう訊いてきた。

「殺すよ」

僕は瞬巡の間もなく、忍にそう答えていた。

「夏休みの終わりにも僕……まあ、お前も含めて、僕らは割と取り返しのつかない事をしそうだったけど、僕らの力で何とか切り抜けた。でも、アレは取り返しがつく、つかない以前にやってはいけなかった。いや、殺す気がなかった。千石も被害者なんじゃないか、って思ってた。だけど、アレはダメだ。人間側の立場としてアレは居てはいけない類いのものだ。僕が原因であんなってしまったというのなら、僕が引導を渡してやるしかない、そうだろう忍？」

「……そうじゃな。アレは相当にまずい。怪異は秘に陰に闇に暗に存在するべきじゃ。血液異常、異常体質、二重人格、その他諸々の怪異にお前様は関わってきたが、アレはどう表現したらよいか分からん。神憑きと表現するのが一番近いかもしれん。もつとも……救いようがないのは本人が真人間に戻る気がないことじゃの」

前様と一緒にじゃ、と力なく忍は笑う。

「状態は一緒でも、覚悟が違うよ忍。僕はこの先の人生全てをかけた、お前に——側の社会に僕がしでかしてしまったことを償っていかなきやならないし、償っていくつもりだ。責任を取るとい言葉がどれほど重いことなのか僕は良く知っている。僕は被害者じゃなくて加害者だったんだ。その点、千石は完全なる——者だ」  
あの忍野ですら匙を投げてしまうぐらいの状態だろう。まさか忍野も無償で助けたときはこんな事態になるとは思ってもいなかっただろうなあ。

「……分かった、その言葉努々忘れるなよ」

最後に忍が釘をさして締めた。

「いや、ちゃんと覚えておくけどさ、僕の質問に答えろよ忍。僕は、千石に勝つ勝算はあるのか、って聞いたんだぜ？」

「ああ、そういえばまだ言っていなかったの。ちよつと待っておれ」  
それだけ言うと、忍は僕の腕枕から離れもぞもぞと布団の中に潜り込む。

「……何やってんだ？」

「いいから黙って見ておれ」

布団内で何やらもぞもぞしているのを眺めていると、

「……おわっ！？」

忍を形成している膨らみが、ざつと二倍ぐらいに膨張した。

「な、何だ？ 何やったんだ忍？」

「……落ち着けお前様。これぐらいのことで取り乱すな。このぐら

いの変化はよく見てるじゃろ」

そう言って、ひよこつ、と布団から顔だけ出した忍は大分成長した面持ちに変貌していた。

「カカカツ、お前様の体液を存分に喰らったからのう。人間の体液で一番栄養価が高いもの、怪異と切っても切れない関係である精液を存分に吸収したんじゃ、これぐらい造作もない」

見た目18歳の成長した忍はにこにこ笑いながらそう言った。

「……な、なるほど、そう言った点からもっと親密にということだったのか」

「そうじゃ、これならば、全盛期には遠く及ばないが、三分の一から二分の一程度までの能力なら使えるじゃろう。純粹に血液を摂取しとる訳でもないから吸血鬼に立ち戻る心配もない、言わばドーピングみたいなもんじゃな」

もしくは外部電源を得たスマートフォンといったところか、と忍は結ぶ。

まあ、もう毎回のことだから驚きもしないが、こいつの情報ソースはどこなんだろう？ 本当に僕経由の情報なのか？

「そうなのか、まあ、スマートフォンでもガラケーでもいいんだが……すごいな裏技みたいじゃないか。これなら戦闘タイプの怪異とすったもんだするときはこれで……」

「今までこの裏技を使わなかった理由が2点ある。ドーピングに例えたようにこの姿で能力を使い、元の姿に戻った直後は、身体が全く動かんくなる。本来の能力以上の力を使うんじゃから当然じゃな、

オーバーホールが必要になる。そしてもう一点は、いつ元の姿に戻るか分からんところじゃ。蔵馬も妖狐に変身するには制限があったようにな。じゃから、戦闘タイプの怪異と戦うにはお前様と血液の行き来をさせた方が効率がよい。予想外に手こずる相手を前に変身が解けたらなぶり殺しもいいところじゃからな」

忍はカラカラと笑うが、あんまり笑えたもんじゃないなそれ……。

僕たちは不死身だからなぶられっぱなしになるんだぜ？

「はあん、なるほどな。それじゃ、何か？ この状態なら千石の蛇の毒も効かないのか？」

「いや……前にも言ったとは思うが、吸血鬼の特性は不死であるから見られがちじゃが、そんなもの多少長生きしてるというぐらいじゃよ。吸血鬼の真に特筆すべき特徴はどんな重傷を負っても死なずに瞬時に傷を修復するその回復力じゃ」

よいしょ、と僕の腕に戻ってきた忍は何事かを考えるように目を瞑りながらそう言った。

しっかし……見た目僕と同年齢ぐらいなのに胸でけえなこいつ。

「しかし、その回復力は物理的な攻撃力には効果絶大じゃが、こと毒物になると効果が薄くなるのが問題じゃな」

いやあ、すごいな、横になってこの形って、どんだけ張ってるんだか……。

「毒に関しては身体の耐久性と同様の値でカウンターストップじゃろうよ。ならばこそ、奴に勝つには先の先、速攻をぶちかますしか今のところ……おい、お前様」

「ん？ どうした忍？ 話の続きは？」

「手！」

「へ？ 手？」

忍に指摘されて自身の手を見ると、ふくよかに育った忍の胸をまさぐる自身の手があった。

「……あらあら、まあまあ」

「お前様から振ってきた話題なんじゃからちゃんと話を聞かんか……揉むなっ！」

「いやほら……何て言うかねえ？」

「じゃから……んっ……お前様話を……」

「まあまあ、もう一回ぐらいスキルアップしてみようぜ忍？ 千石の戦闘力は予想がつかないんだし」

「あっ……こら、全盛期の半分も力を出せば、儂に敵う敵など、つて、どこを触ってるんじゃ！」

「まあまあ、いいからいいから……」

「なあなあで済む問題か！？ 全く絶倫じゃのう！」

「ハッハッハ、今度は何を試そうか、なあ忍？」

「ふわっ……もう、仕方ない我が主様じゃ……ん？ あれ？」

「どうした忍？ 感度があがったのか？」

「そ、そんな中年親父みたいな問いは置いておいて……何だか身体力が……」

「お、おい……大丈夫か？」

「い、いかん……あ、ら、らめ……」

悶える忍（推定身体年齢18歳） ↓ ピカッ！ ↓

ピュルンツ ↓ ポムツ！（推定身体年齢8歳）

忍が何やら呻くと、一瞬だけ忍の身体が光ったかと思うと、ピュルンツ、という擬音が聞こえるような速度で、忍は元の少女姿に戻ってしまった。

「……え……えー………？」

「カッカッカ……同族から聞いた話だけじゃったが、こんなにも変身時間が短いとはな。戦闘タイプと戦うときには間違っても使えんのか」

剣呑剣呑、と忍は笑っているが僕は萎え萎えだ。ていうか、びつくりし過ぎて僕の愚息も縮んじゃったよ！

「まあ、唯一の救いは今回は変身してる最中に能力を使ってないから身体に負荷がかかってないことじゃな。身体も十二分に動く。どれお前様、続きといこうか」

忍の目がギラリと肉食獣のそれに代わり、つり上がった唇からは牙が覗いている。

「え、あー……忍さんや。僕ちよつとしぼんじやったりなんかしちゃって……」

「——問題ない」

「ひ、ひっ！」

冷静さを取り戻した僕を遮り、いつの間にか忍は、僕の愚息をギョツ、と握りしめていた。

「変身後の儂に欲情したということは、まだやれるということじゃ。あの前髪娘を打倒するんじゃない？ ならば、もそつと、注ぎ込んでもらわなければ困る。まさか、戦闘の最中に注ぎ込んでもらうわけにはいかんからのう」

「あ、あの……忍さん？ め、目が怖いんですが……？」

「大丈夫じゃ。朝まで天国を味わわせてやる。スマホでもガラケーでも構わんが、チャージしなくてはのう？」

「ひ、ひいいいいっ！？」

「女子のような声を出すなよお前様。……どれ赤玉出るまで愉しませてもらおうか」

「……ら」

「ら？」

「……ら、らめえええええっつ！！」

こうして、僕らの幕間は更けていくのだった。

【End】

◆あとかき◆

こんにちは、徳川ランディーヌです。

まず、初めて当サークルの本を手にとった方にお礼を申し上げます。

本当にありがとうございます。

そして、前回、前々回など来て下さった方、本当にありがとうございます。

これからも当サークル「Cocoa Cigarette」を宜しくお願いします。

さて。

前回の本では、この段階で大変取り乱してしまいました。

なぜかという、確かあと1時間程度で印刷所が閉まってしまうという時間だったからです。

しかし、今回は違います。

余裕があります。

なぜなら、僕の原稿が全て終わっているにもかかわらず、

浩之くん原稿が終わっていないからです。

この空白の時間を、今、最高にエンジョイしたいと思います。

ひっやほおおおおおおお！！ ヽ(´▽`)シ

お酒を飲みます！帰ってきたらお酒をたくさん飲みます！！

そしてこう呟くんです！

「…ふっ、今回も、まだまだだったな…(クイツ)」

厨二です！

厨二病全開です。男たるもの、一年に一度、いや、何度かは厨二病が発病するものなんです。

厨二病はシンドロームです。慢性的です。体中に転移します。末期です。

そして良い厨二病患者は「ひとり」で厨二病と闘病するのです。(←これ重要です)

厨二病は公害でもあります。きちんと一人で処理していきましょう。

さてさて。

そろそろお別れの時間が参りました。

今回の本はいかがだったでしょうか？きちんと漫画になっていたでしょうか？

この本を描いた事で、僕自身にとって様々な課題が生まれました。

この夏は、それを克服するための時間として利用していきたいと思います。

ここまで付き合っ下さってありがとうございました。

最後にもう一度、この本を手にとって頂き、ありがとうございました。

またよろしくお願いします。

徳川ランディーヌ

...

HPアドレス：<http://ennoi.yukihotaru.com/>

PixivID：92408

ぽーぽー埋め(いっ)!

表紙ラブボツ



またね!



◆発行◆

Cocoa Cigarette

◆印刷◆

ねこのしっぽ 様

◆発行日◆

2011年8月14日

◆製作◆

徳川ランディーヌ

JOKER浩之

**禁止事項**

無断転載などはお止めください。

また、この本は成人向けです。18歳未満の方は閲覧しないでください。



**Cocoa Cigarette**  
2011 Summer

**Shinobu-erection!**